

平成 27年 06月 22日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

ふくしまの住まい「SIMOKU(しもく)」

グループの名称

ふくしまの住まいを創造するネットワーク「SIMOKU(しもく)」

直近採択グループ番号

01-0280-0073

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

宗像 剛

代表者印

代表者所属先

八光建設株式会社

代表者構成員番号

V-1, VI-1

代表者所在地

福島県郡山市並木1-1-11

代表者電話番号

024-922-8553

(グループ事務局)

事務局事業者名

八光建設株式会社

事務局構成員番号

V-1, VI-1

事務局担当者名

澤崎 幸史

印

事務局郵便番号

963-8026

事務局所在地

福島県郡山市並木1-1-11

事務局電話番号

024-922-8553

事務局FAX

024-939-1052

事務局担当者E-mail

sawazaki@hk-const.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	ふくしまの住まい「SIMOKU(しもく)」
2. グループの名称(必須)	ふくしまの住まいを創造するネットワーク「SIMOKU(しもく)」
3. 直近採択グループ番号(必須)	01-0280-0073
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	福島県 宮城県
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	宗像 剛
7. グループ代表者の所属先(必須)	八光建設株式会社
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	V-1, VI-1
9. グループ代表者所在地(必須)	福島県郡山市並木1-1-11
10. グループ代表者電話番号(必須)	024-922-8553
11. グループ事務局事業者名(必須)	八光建設株式会社
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	V-1, VI-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	澤崎 幸史
14. グループ事務局郵便番号(必須)	963-8026
15. グループ事務局所在地(必須)	福島県郡山市並木1-1-11
16. グループ事務局電話番号(必須)	024-922-8553
17. グループ事務局FAX番号(必須)	024-939-1052
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	sawazaki@hk-const.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	2	
II. 製材・集成材製造・合板製造	6	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	4	
IV. プレカット	3	
V. 設計	2	
VI. 施工	9	
VII. 省エネルギー設備等の流通	0	
VIII. 木材を扱わない流通	0	
IX. I～VIII以外の業種	4	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	県産木材証明制度	福島県	県産木材証明制度	1	国内
	優良品やぎ材認証制度	宮城県	優良品やぎ材認証制度	1	国内
	合法木材証明制度	全国	合法木材証明制度	3	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店+未経験工務店の合計		5 戸	地域材加算合計		5 戸
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	うち申請が確実	戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計	うち申請が確実	戸
		うち申請が未確定	2 戸		うち申請が未確定	3 戸
	地域材加算(うち申請が確実)				戸	
	地域材加算(うち申請が未確定)				5 戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計		1 戸	地域材加算合計		1 戸
うち申請が確実			地域材加算(うち申請が確実)	戸		
	うち申請が未確定	1 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	1 戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計		0 戸	地域材加算合計		0 戸	
うち申請が確実			地域材加算(うち申請が確実)	戸		
	うち申請が未確定			地域材加算(うち申請が未確定)	戸	
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物					
	うち申請が確実	棟	m ²			
	うち申請が未確定	0 棟	0 m ²			

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	グループ内で採択要件・採択戸数を充分検討し配分する。(未経験工務店を優先して配分したい。)				
---	---	--	--	--	--

E. 平成26年度の執行状況(H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み		
	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	
			竣工済	戸	竣工予定
木造建築物					
採択棟数	棟	採択床面積	m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ふくしまの住まい「SIMOKU(しもく)」	(地域型住宅供給対象地域) 福島県 宮城県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ふくしまの住まいを創造するネットワーク「SIMOKU(しもく)」	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	01-0280-0073	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	夏の高温多湿と冬の寒さ対策を考慮し、風通しと採光に配慮し軒を深くするなどパッシブエネルギーを積極的に採用。夏季の風の流れは南北方向なので、開口部の位置は風の流れを十分考慮して計画する。更に気候に合わせて開口部断熱性能を地域区分3～5地域に分けて採用する。(非住宅は除く)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	床下空間や小屋裏空間についても良好な風通しを確保し、また有効活用する。その空間はメンテナンスが容易な構造とする。果、増床による増築が可能な構造計画とすることで将来のライフスタイルの変化に対応し、持続可能な地域型住宅を提案していく。(非住宅は除く)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	木の温もりが感じられ、お客様が安心して住み続けることが可能な地域型住宅とする。木製スリットや木製格子を積極的に組み込み、光と影、空気や風の流れを有効に採る。(非住宅は除く)	◎
④①～③の背景	阿武隈高地と奥羽山脈にはさまれた地域、盆地が多く夏は酷暑になることが多く、夏季の風の流れは南から北へ流れていきます。冬季は強い季節風に晒されます。積雪も多いときは約50cmとなります。構成員の大半は福島県中通りに本社があり、経済・交通の中枢で商業・内陸工業・流通都市となっている郡山に近い場所である。東日本大震災の影響もあり、地域の方々が耐震及び構造体に関する興味が高まっている。	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	simoku(しもく)ブランドは、お客様のご要望や条件を的確に受け取り、アーキテクトがプランを練り上げ、職人の技で丁寧に仕上げます。その住まいは、奇をてらわない、しかし、型にはまらない。家を通る風が、ひたすら気持ちいい。刻々と変化する光が、ひたすら美しい。考え抜かれた設計が、豊かな暮らしを育みます。年月を重ねる毎に、その魅力を増していく。Simoku(しもく)が創り上げるのは、そんな住処です。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	主要な柱、梁、桁、土台、下地材:垂木、母屋、間柱、ネタ、大引き等、断面を標準化することで、設計施工コスト低減、効率化を図る。主要構造材の1/2以上を「県産木材証明制度」「優良みやぎ材認証制度」または「合法木材証明制度」の材料を使用する。	◎
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	木材・建材・住宅設備機器は集中購買を行い、コスト低減する。また住設機器等、メーカー統一による発注事務等の合理化を推進する。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	合理化に向け、(材料・方法・人)について「意見交換会」を実施する。業種、職種を問わず幅広い意見を抽出し、検討する場を設ける。	◎
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	施策制度情報や新商品の情報を周知。「意見交換会」の招集。	◎
b. ①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	信頼性向上のため、「施工基準書」の整備を行う。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールを設定	「自己チェックシート」に基づき検査を行い、中間検査、完了検査を実施する。	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	標準設計図書(特記事項へ記載)及び標準見積書の作成及び施主への提示と説明。わかりやすい表現。力会社会「八日会」に参加する企業より見積もりを取り、安価に仕入れられる事業者が発注する。一製品等については大口で契約する。住宅設備の仕入れ価格の値引きに努める。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	施工実績としての「現場見学会」や「ものづくり体験イベント」を実施してグループの取り組みを知っていただく。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	顧客に住宅のイメージを感じてもらうため、信頼性向上の為、イメージパースを作成する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ふくしまの住まい「SIMOKU(しもく)」	(地域型住宅供給対象地域) 福島県 宮城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ふくしまの住まいを創造するネットワーク「SIMOKU(しもく)」	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	01-0280-0073	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	共通の維持管理計画書(維持保全計画書)を作成する。定期点検時期の告知方法は施工業者に書面により通達⇄報告書 ※施工店保管とする。(非住宅を除く)	◎
②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	住まい手への維持管理情報提供(劣化の判定基準)、チェックリストの整備による統一視点、ポイント確認する。 (非住宅を除く)	◎
③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	住まい手が自ら維持管理できる(劣化判定基準)資料を定期点検時に送付する。「ものづくり体験イベント」を企画・実施して、道具に触れたりして体験すること、住まい手とのコミュニケーションを図り、DIY相談を受け付ける場を設ける。(非住宅を除く)	◎
④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	定期点検時に確認された不具合等を「意見交換会」にて情報共有する。	◎
b		
①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	事務局による代替履行事業者の斡旋を行う。	○
②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	各担当施工構成員が瑕疵についての責任を負う。瑕疵原因についてはグループ全体で「意見交換会」により改善案を検討する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入	該当しない	
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	グループとしての未経験工務店への支援を事務局が行う。経験工務店の施工状況現場見学を計画・開催する。 外部講習会を周知参加を依頼する。	◎
②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	グループとしての未経験工務店への支援を事務局が行う。経験工務店の施工状況現場見学を計画・開催する。 事業期間内に3回程度実施する。	◎
③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	「simoku(しもく)」ブランドを定着させるため、「現場見学会」「ものづくり体験イベント」を実施してグループの取り組みを知っていただく。	○
④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	「simoku(しもく)」ブランドを定着させるため、協力会社「八日会」に参加する企業を中心に、技術・コスト・物流・物・人の合理化を検討していく。	○
b		
①省エネ技術講習会への参 加目標人数	施工構成員、6業者、6名(未受講)について、確実に事業期間内に受講修了を目標とする。	◎
②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	事務局による対象者の把握、講習日時連絡、受講申請フォローを行う。	◎
c		
①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	該当しない	
②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	該当しない	
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入	追加登録業者がある場合は、「住宅省エネルギー技術者講習」修了を必須とする。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) ふくしまの住まい「SIMOKU(しもく)」	(地域型住宅供給対象地域) 福島県 宮城県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ふくしまの住まいを創造するネットワーク「SIMOKU(しもく)」	(結成年) 2012年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	01-0280-0073		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①地域材ごとの使用部位(必須)	主要な柱、梁、桁、土台・下地材:垂木、母屋、間柱、ネタ、大引き等、「県産木材証明制度」「優良みやぎ材認証制度」または「合法木材証明制度」の材料を使用する。	◎
	②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	1棟当たりの使用量は約4~9m ³ 福島県産材・概ね10%以上、国産材・概ね10%以上、合法木材・概ね80%以下	◎
	地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要な柱、梁、桁、土台、下地材:垂木、母屋、間柱、ネタ、大引き等、主要構造材の1/2以上を「県産木材証明制度」「優良みやぎ材認証制度」または「合法木材証明制度」の材料を使用する。	◎
	地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	地産地消・地域材を積極的に組み込むことで、原木から施工現場までの移動コストや供給サイクル短縮を図ります。	◎
b	①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み	「意見交換会」にて情報共有し、地域材在庫を確認する。	○
	②グループ全体における地域材の需給予測	「意見交換会」にて情報共有し、地域材使用量と使用時期を把握する。	○
c	①-1 畳の活用	計画上、部屋単位でなくても、畳コーナーとして住まい手に勤めていく。	○
	①-2 和瓦の活用	住まい手に勤めていく。	○
	①-3 襖の活用	和室の計画とセットで住まい手に勤めていく。	○
	①-4 障子の活用	和室の計画とセットで住まい手に勤めていく。	○
	②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	地域材の木製スリットや木製格子を積極的に組み込み、光と影、空気や風の流れを有効に採り入れる提案をする	○
d	①地域の伝統的なデザインを継承する取組	風通しと採光に配慮し、軒を深くするなどのデザインを心がける。	○
	②地域の住まい方の継承につながる取組	木の温もりが感じられ、お客様が安心して住み続けることが可能な地域型住宅とする。木製スリットや木製格子を積極的に組み込み、光と影、空気や風の流れを有効に採り入れる。	○
	③地域の街並み形成へ寄与する取組	simoku(しもく)ブランドの地域型住宅を、造り続けていくことが、町並み・景観の形成に寄与できると感じています。合わせて職人の技の伝承も造り続けることで継承されると思います。「続けること」を取り組んでいきます。	○
	④和の住まいの要素を取り入れた取組	木製スリットや木製格子を積極的に組み込み、「光と影、空気や風の流れを有効に採り入れる。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	該当しない	
その他			
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
	東日本大震災の復興に資する取組	地震・津波・放射線の災害を被災した福島県、いまだに復興途中です。安らぎの住処に、思い出の故郷に、安住していただけるお手伝いができれば幸いです。福島県産材・福島県の職人、グループ一丸となってスムーズに、より良い住処を創造していきます。	○
グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。			
該当しない			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。